

ユネスコ無形文化遺産保護条約 第12回政府間委員会 概要

1. 開催概要

(1) 開催日時・開催地

2017年12月4日(月)～9日(土)於: 済州島(韓国)

(2) ビューロー

議長: Mr Byong-hyun Lee (韓国)

ラポラトゥール: Mr Gábor Soós (ハンガリー)

副議長: トルコ, ブルガリア, コロンビア, コートジボワール, パレスチナ

(3) 委員国

グループ I オーストリア, キプロス, トルコ

グループ II アルメニア, ブルガリア, ハンガリー

グループ III コロンビア, キューバ, グアテマラ, セントルシア

グループ IV アフガニスタン, インド, モンゴリア, フィリピン, 韓国

グループ V(a) コンゴ, コートジボワール, エチオピア, モーリシャス, セネガル, ザンビア

グループ V(b) アルジェリア, レバノン, パレスチア

(計24か国)

※下線の任期は2014-2018年。それ以外は2016-2020年

2. 「無形文化遺産代表一覧表」等の審議(議題11)

○「代表一覧表」は、34件中、記載が33件、情報照会が1件であった。この結果、代表一覧表の記載件数は399件となった。

- ・ 評価機関の勧告では、35件の提案中、記載は23件、情報照会は12件。
- ・ このうち情報照会の勧告12件中1件は、政府間委員会での審議の前に、提案国により取り下げられた。

○「緊急保護一覧表」は、6件中6件が記載され、計52件となった。

※既に記載されている46件のうち1件が、本委員会において「緊急保護一覧表」から「代表一覧表」へ移行

○「グッド・プラクティス」は、4件中2件が記載され、計19件となった。

3. 「評価機関」構成員の改選(議題18)

○条約の運用指示書に基づき、「評価機関」(各地域の専門家6名と専門機関6機関で構成)構成員のうち4分の1が改選された。改選後の構成員と任期は、次のとおり。

	専門家		専門機関	
グループⅠ	Amélia Maria de Melo Frazão Moreira (ポルトガル)	2015-2018年	Norwegian Crafts Institute (ノルウェー)	2016-2019年
グループⅡ	Saša Srećković (セルビア)	2015-20181年	Czech Ethnographical Society (チェコ)	2016-2019年
グループⅢ	Sonia Montecino Aguirre (チリ)	2017-2020年	<u>Erigaie Foundation</u> (コロンビア)	2018-2021年
グループⅣ	Hien Thi Nguyen (ベトナム)	2017-2020年	<u>Korea Cultural Heritage Foundation</u> (韓国)	2018-2021年
グループⅤ (a)	John Moogi Omare (ケニア)	2016-2019年	The Cross-Cultural Foundation of Uganda (ウガンダ)	2015-2018年
グループⅤ (b)	<u>Saeed Al Busaidi</u> (オマーン)	2018-2021年	Egyptian Society for Folk Tradition (エジプト)	2017-2020年

※下線が新たに選出された構成員。

4. 次回委員会の開催時期・場所及びビューロー(議題19, 20)

(1)開催時期・場所

時期:2018年11月26日(月)~12月1日(土) (6日間)

場所:ポートルイス(モーリシャス共和国)

(2)ビューロー

ラポラトウール:オーストリア

副議長:キプロス(グループⅠ), アルメニア(グループⅡ), グアテマラ(グループⅢ), フィリピン(グループⅣ), レバノン(グループⅤ(b))

5. 議論のポイント

○デュアル・システムの導入(評価基準5)

(以上)

【補足】2018・2019年サイクルで取り扱う提案書の件数については、前年の第11回政府間委員会(アディスアベバ・エチオピア)において、ユネスコの予算・人員の制約により、2018年及び2019年においても、審査件数をそれぞれ50件とするともに、各提案国は少なくとも2年に1件は審査が保障されることが決定されている。